

日中友好新聞

府連通信

2008年9月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
[http://www005.u
 pp.so-net.ne.jp
 /jcfaosaka/](http://www005.u

 pp.so-net.ne.jp

 /jcfaosaka/)

沙飛(さひ)写真展中国側から見た

日中戦争の写真七二枚を展示

中国の報道写真家の草分けであり、第一人者であった沙飛(さひ)写真展が「2008平和のための戦争展」として八月二十日から二三日、日中文化センターで開かれました。

件も知らなかったが、草の根で日中友好のいしずえになつて、心あたたまる話だと思ふ。展示の写真も大変良かった」と感想が寄せられました。

第二会場では戦時品や資料が展示され、多くの参加者が熱心に資料を読まれていました。また、日中戦争などの当時の映像が上映され、それを見た女性の方は「本当の当時の映像を見て、その時代の情勢や、歴史の事実を知ることが出来ました」と話されています。また、戦争展に取材に来られた若い新聞記者の方も、「戦争の事実を学び、平和の大切さを痛感しました。」と感想を述べられました。



沙飛の写真は抗日戦争の写真や解放区での庶民の生活、八路軍の農作業、日本軍捕虜への優待政策、反戦

兵士になった日本軍兵士たち、中国側から見た日中戦争の今まで知らなかった側面を撮り、八路軍に救出された日本人少女の写真は特に有名です。その少女・梅美穂子さんは現在も都城市在住で、沙飛の次女王雁さんと知り合い四月の東京を始めとして、全国各地で写真展を開くことになりました。

四日間の開催中に一五〇名の来場がありました。



北京オリンピックの応援に行ってきた、平松さんの観戦記を二面に掲載しています。



四川省大地震災害義援金 中国領事館に届ける

被災者救援のため、会員・読者をはじめ太極拳・中国語の受講生の方々から、総額五〇万円を超える義援金が寄せられました。

七月二九日渡辺武府連会長と高瀬龍二事務局長が中国領事館へ、第一次分に続き第二次義援金として中国領事館へお届けしました。

きりえ秀作作品展

日中友好第四〇回全国きりえコンクール秀作作品展が、八月二〇日から三一日まで大阪きりえセンターで開かれ、のべ八〇名の方に見ていただきました。「やっぱり優秀作と入選作はどこか違うなあ」「来年は出品してみようかな」との声も聞かれました。



写真の会場は、鳥巣とシンクロ会場です。

第89期中国語講座10月6日開講

中国人との日常会話ができることをめざしています。会員・学生割引があります。

(週一回・二時間・6ヶ月20回受講)

受講料・44000円 二科目受講79000円

入学金・18000円

*授業の見学は無料で二科目までならOKです。

*プライベートレッスンも随時受付中です。

中国が世界に誇る

北京風雷京劇団 姫路公演

10月28日(火)午後6時開場6時30分開演

会場：姫路市民会館大ホール

一般4000円、当日4500円

高校生以下2000円、当日2500円

主催：北京風雷京劇を観る会・府連で前売り券取り扱い中

北京オリンピック観戦記

緑がすばらしい街、笑顔で歩み寄るボランティア

一つの世界、一つの夢を掲げ、夏季北京オリンピック大会、シンクロナイズドスイミングの応援に、二日〜三四日行ってきました。

耳から入ってくる様々な情報、表面的にしか見ていないかもしれないが、どこまで行っても、緑が途切れることのない素晴らしい街、歓迎一色の中、人、人、量的にはすごいパワーを感じました。

規制はされているようですが、スムーズな車道、青空もあり視界もよく見えている、四国の面積に匹敵する北京市。しかし、過剰サービスに慣れている私たち、いささかのとまどいもありました。

ホテルに着いてもほとんど関与なし、自力で前進、言葉で困ってもほとんど歩み寄りなし、それなりに人は配置されているのに何をしているの、レストランに於いても系統的でなく、相手の立場にたっていない。

ところが、オリンピック会場に近づく、多くのボランティアの人たちは笑顔で接し、歩み寄り、大会成功のために動いている姿を眼にしました。

きびしいチェックを何度か通

過ぎて水泳会場へ、ああここが北島選手が二冠を達成した場所かと思うと感激しました、シンクの選手たちも、四年間がんばつて、ガンバツテ、がんばり抜いて来ましたが、後は私たち応援団が後押しする時です。

統制のとれたUSAコール、となりの声も聞こえないほどのすざましい中国の加油(チャール)スペイン選手団の声掛けの良さ、お行儀のよい日本、応援では最下位クラスでした。

そんな中、大きな重圧をはね

のけて選手は力の限り奮闘しました、極限以上の演技をした小林選手には、会場われんばかりの金メダル以上の拍手があり、思わずあついものがこみあげ感動をいただきました。帰りの車中でも何か声にならず、ただ涙になり不思議な体験をしました。

ありがとうオリンピック、ありがとう北京、そして私の知っている北京でいついつまでも。(理事・平松悦雄、娘の友人がシンクロ選手で出場、応援で北京に)

食の安全・WTOと中国 自国の食料は自国で確保を

WTO(世界貿易機関)の貿易自由化の議論と成果は自由化を掲げる先進国と、開発途上国との利害が対立して妥協する事はできなかった。先進国の中でもアメリカは自国農業の保護(補助金)をしながら、他国に

いられているのです。これでは貧富の差がますます広がりがねません。日本の場合は工業製品を売りつけるために農産物を犠牲に明け渡すと言う屈辱な姿勢です。

は窓口を開放せよと一方的な振る舞いに、中国やインドが激しく抵抗しました。開発途上国ではこれ以上の屈辱的な貿易協定を結ばば自国の農民を救うことが困難になるからです。それだけでなく低賃金の労働強化を強

日本の自給率は四〇%を割り込んだ事はもう皆様もご承知のことと思いますが、さらに石油高騰のあおりを受け各国の農業が大打撃を受け、もはや金を積みあげ食料が買えると言う時代ではなくなりつつあります。自国の食料は自国で確保でなければ

奈良支部再建進む

関西ブロックで空白になっていた奈良に、日中の支部を再建しようと地元の方々がこの間、三回の準備会を開きました。毎回、熱心な中国に対する思いが語られました。

そして、十月十日に大西広さん(京大大学院教授)を講師に迎えて、「中国事情学習会」を開催することになりました。多くの中国問題に関心のある市民に来ていただき、成功させたいと思っています。支部結成総会は十二月二十日を予定しています。

日中大阪府連基金 募集のお願い

ここ数年、日中大阪府連の財政状況は厳しくなってきました。このままでは、一時的に活動資金が不足し、運営に支障をきたします。

八月の常任理事会で会員の皆様に日中大阪府連基金をお願いすることを決めました。ぜひ、ご協力願います。

募集金額 三百万円
一口 一万円

(五年間 無利子でお願いします)

八月六日・日中大阪府連常任理事会

中国語講座の 受講料改定について

当協会の中国語教室は十数年以上、授業料を改定せず努力してまいりましたが、このままでは運営に支障をきたすこととなり、十月開講の第八九期中国語講座より、授業料の改定を実施することになりました。皆様方のご理解をよろしくお願い申し上げます。

新授業料

4万4千円(現在3万9千円)
学生と日中友好協会会員は割引で4万1千円(現在3万6千円)
入学金は1万8千円
(現在1万5千円)

八月六日・日中大阪府連常任理事会

(常任理事 松原弥寿夫)